

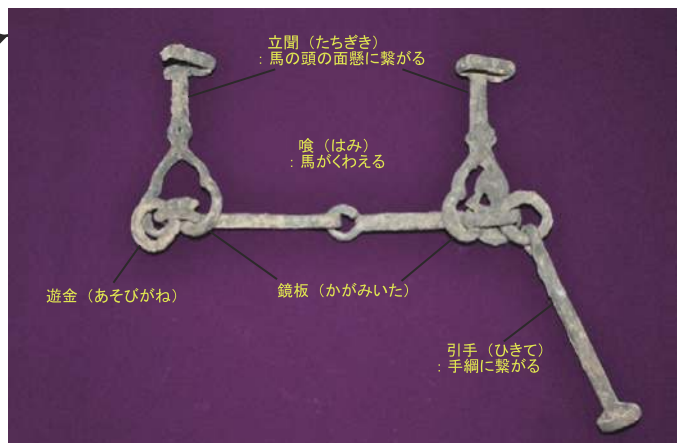
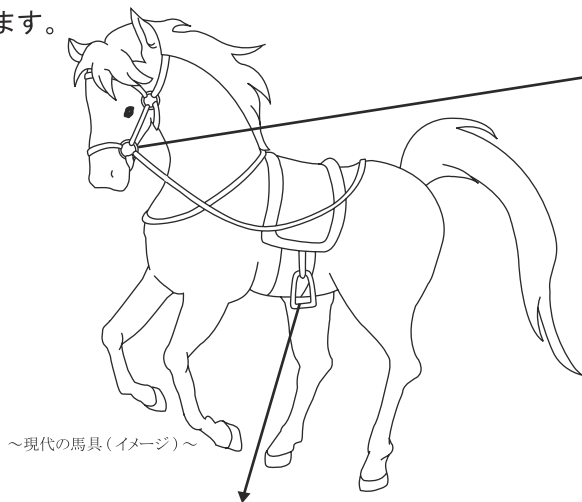
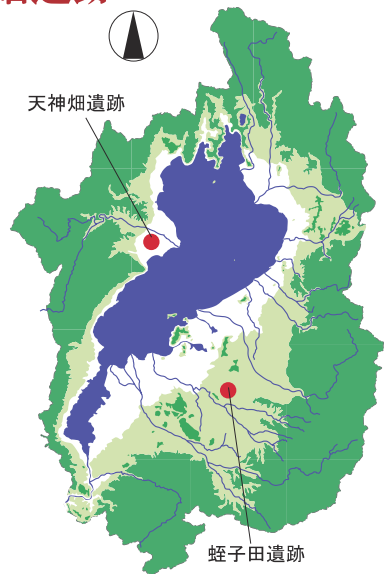
【調査速報】^{えびすだ}東近江市木村町蛭子田遺跡・^{てんじんばた}高島市鴨天神畑遺跡

馬具の実像に迫る！

古代・中世の馬具といえば、古墳の副葬品や埴輪、『蒙古襲来絵詞』・『平治物語絵巻』などの絵巻物に描かれた様子、神社の奉納品などの伝世品でしか知ることができませんでした。今回の発掘調査で、実際に使われていた馬具の実物が2例出土し、大きな話題を呼んでいます。

日本の乗馬文化は、古墳時代に朝鮮半島を經由して伝わったといわれています。4世紀末頃に馬の骨が、5世紀には馬の埴輪がつくられるとともに古墳の副葬品として馬具がみつかっています。

今回出土しました蛭子田遺跡の**鍙**^{あぶみ}は、古墳時代後半の馬具の様子を如実に示しています。また、天神畑遺跡出土の**轡**^{くつわ}は、中世の奉納用などの儀式品ではなく実用品としての実際をわたしたちに教えてくれます。いずれも、馬具のうつりかわりや使われ方などを考える上で、大変貴重な資料がみつかったことになります。



天神畑遺跡からみつかった「**轡**」^{くつわ}

●12～13世紀頃のもので、当時祭祀の場であった川跡でみつかりました。鉄製で鏡板には杏葉の文様が鑄込まれています。この頃は武士が台頭してきた時代です。絵巻物には馬に乗った武士が多く描かれており、轡を観察しますとそのほとんどが、出土品と同じ杏葉轡なのです。これまで絵巻物でしか知られていなかった中世の轡の実用品を知る貴重な出土資料です。



蛭子田遺跡からみつかった「**鍙**」^{あぶみ} (左:左横から・右:右横から)

●5世紀後半～6世紀前半のもので、河川跡でみつかりました。木製の壺鍙といわれ、金属部品による強化などはみられません。針葉樹の丸太から削り出されていて、重心がやや左へ偏ることから右足用と考えられます。上部の紐を通す穴（鍙軛受穴）から上が欠けており、使用時に強度不足から割れた可能性があります。古墳の埋葬品や埴輪からしかうかがい知ることのできなかつた鍙ですが、本品は乗馬文化が伝わった初期の頃の、試行錯誤の様子が想像されます。

特別展示 東日本大震災復興祈念

「時空を駆ける馬たち」

天神畑遺跡からみつかった轡のほか、滋賀県内でみつかった埴輪や形代など馬と馬具の造形を展示しています。

—滋賀県立安土城考古博物館において開催中！—

◇日時：～10月23日(日)まで/9:00～17:00 (入館は～16:30)
 *月曜休館。月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日休館
 入館料：大人400円・高大生250円 (小中学生無料)
 *団体割引等有。 【問合せ先 0748-46-2424】



～夏休みの自由研究、お手伝いしました！～



夏休みは、お子さんを対象とした体験学習を開催しています。今年は、恒例になりました滋賀県埋蔵文化財センターの「草木染め」、「鍛冶体験」、「石鏝づくり」に加えて、新たにウォークラリーと琵琶湖でのクルーズ（子どもゆめ基金～独立行政法人国立青少年教育振興機構～助成活動）を企画しました。



ウォークラリーの様子～堂ノ上遺跡にて～

ウォークラリーは、近江国庁跡を中心とした瀬田地域で、遺跡など5か所のチェックポイントをまわるコースでした。親子で地図を片手に、一緒にゴールを目指します。当日は快晴で、とても暑かったのですが、みなさん汗だくになりながらもコースを踏破されました。自分の足で実際に歩くことで、近江の歴史をより身近に肌で感じていただけたのではないのでしょうか。お疲れさまでした。

◇ほかにも、盛りだくさんでした。一部ご紹介。



「あの遺跡は今!part13」おのの土器をつくる





「体験博物館」和紙づくり



クルーズ・メニュー”地引網体験”の様子

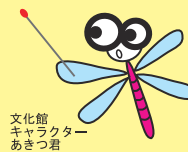
琵琶湖でのクルーズは、琵琶湖汽船さんの”megumi号”で大津港から沖島までを往復するコース。船内では、琵琶湖の漁業の歴史や、湖底遺跡の勉強をしました。沖島では湖魚をふだんに使った”琵琶湖の恵み弁当”を楽しみ、沖島漁業組合さんの協力で地引網引きを体験。琵琶湖の歴史と自然を満喫し、参加者のみなさんにもよろこんでいただきました。

●財団法人滋賀県文化財保護協会は文化財の調査を中心に、文化財をと
おして滋賀の歴史と文化をみなさまに身近に、より深く知っていただけ
るよう、自主事業に加え、市町や民間団体との協働によって、さまざま
な活動をしています。場所も滋賀県埋蔵文化財センターや滋賀県立安土
城考古博物館、滋賀県立琵琶湖文化館のほか、大型ショッピングモール
などの商業施設、今回ご紹介したような屋外などさまざま。メニューも
体験、講座、展示、発掘調査説明会、文化祭のお手伝い、授業サポート、
大学生の考古学研修など豊富です。お問い合わせは、電話 077-548-9780。
・・・ホームページでもご紹介  <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

あきつ君  からのお知らせ～琵琶湖文化館～

講座

文化財講座 『打出のコツチ』

文化館
キャラクター
あきつ君

時 間：13:30～15:00（13:15～受付開始）
会 場：コラボしが21（大津市打出浜2-1）
3階 中会議室（12月22日のみ大会議室）
定 員：40名（12月22日のみ200名／要予約・先着順）
参加費：無料
申込先：滋賀県立琵琶湖文化館（077-522-8179）

■滋賀県には多くの国宝や重要文化財をはじめ、さまざまな文化財があります。こうした文化財の調査や修理、保存などの具体的な取り組みについての最新情報をお届けする人気講座。ぜひ、お気軽にご参加下さい。

【第6回】「秘仏開帳－長浜市千手院 千手観音立像（御代仏）をめぐって」

日時：平成23年10月27日（木）
講師：秀平 文忠 氏（長浜市教育員会）

【第7回】「文化財を動かす－学芸員の仕事－」

日時：平成23年11月24日（木）
講師：井上 ひろ美（滋賀県立琵琶湖文化館学芸員）

【第8回】「木簡が語る近江の歴史－西河原木簡から こけら経、巡礼札まで」

日時：平成22年12月22日（木）
講師：井上 優 氏（滋賀県教育委員会文化財保護課）

「秋の考古学体験学習 - 古代の技に挑戦 -」



■ JR大津京駅構内展示

JR大津京駅の構内に文化財の展示場があります。一年をとおして展示しています。今回は、滋賀県埋蔵文化財センターで開催する「草木染め」、「鍛冶体験」などの体験学習をご紹介します。この展示では、“身近な素材”から古代の技法を使って製品を作る過程を、写真パネルや原材料などの実物をとおして、わかりやすく展示します。電車の乗り降りにお時間がございましたらぜひ、ご覧ください。

- ◇期 間：10月3日(月)～平成24年1月13日(金)
- ◇場 所：JR大津京駅構内文化財展示場
- ◇問合先：財団法人滋賀県文化財保護協会 077-548-9780

■埋蔵文化財センター・秋の体験学習

大人気の体験学習。秋のメニュー”土器でごはんを炊いてみよう”も登場です。

◇「古代のファッションデザイナーに学ぼう」～草木染めに挑戦～
秋の草木を使って、自然の色で布を染めてみよう！

11月5日(土)／各回定員 15名

◇「古代の料理人に学ぼう」～土器でごはんを炊こう～
復元した土器で、ごはんを炊いてみよう！

11月12日(土)／定員 10名(午後の部のみ)

◇「古代の鍛冶職人に学ぼう」～ナイフ作りに挑戦～
火で熱した五寸釘をたたいて、オリジナルナイフをつくってみよう！

11月19日(土)／各回定員 10名

- *各回とも、
- 会 場：滋賀県埋蔵文化財センター前庭
- 時 間：午前の部 10:00～12:00・午後の部 14:00～16:00
- 参加費：各 500円
- 対 象：小学校1年生～一般(低学年の方は保護者同伴)
- 申込み：電話で予約受け付け
(10月3日～受付開始/定員になり次第締め切り)
- その他：材料・道具はこちらで用意します。動きやすく、汚れてもよい服装でお越し下さい。火を使います。危ないので、素足・サンダルでの参加はご遠慮ください。
- 問合先：財団法人滋賀県文化財保護協会 (077-548-9780)



草木染めのスカーフ



ナイフつくりの様子

協力事業

「発掘された縄文人のアートとレシピ」

— 三大淡水産遺跡「石山貝塚・蜷谷貝塚・粟津湖底貝塚」展示会 —



しじみちゃん

1万年前の昔から、人々の暮らしを「ゆりかご」のように育んできた母なる琵琶湖。石山貝塚や粟津湖底貝塚など、琵琶湖周辺の縄文遺跡から見いだせる”縄文人のアートとレシピ”をとおして、その暮らしぶりをご覧ください。



縄文人は赤ウルシをぬった鮮やかな木製の器もつかっていました。何を入れていたのでしょうか。

日 時：平成23年10月15日(土)～11月13日(日)

10:00～16:00

場 所：石山観光会館2階ホール

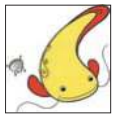
(石山寺東門から南へ80m/大津市石山寺3-2-28)

問合先：近江しじみ貝塚研究会 077-537-1105(石山観光協会内)

主 催：近江しじみ貝塚研究会

大津市パワーアップ 市民活動応援事業

協 力：財団法人滋賀県文化財保護協会・大津市歴史博物館・滋賀県教育委員会



【イベント情報】

みる・きく・ふれる <10~12月>



■財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-548-9780/(FAX)077-543-1525

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
10/3(月)~ 平成24年1/13(金)	—	展示	JR大津駅構内展示 「第3回 秋の考古学体験学習—古代の技に挑戦—」	—	—	—	JR湖西線大津駅構内
10/15(土)	10:00~16:35	講演	関西考古学の日 記念事業 秋のシンポジウム 「大阪上町台地から都市を考える 3」 ～都市と自然の歴史学—弥生時代から難波宮—	250	要	無料	大阪歴史博物館 4階講堂 (問合せ:06-6946-5728)

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

■滋賀県立琵琶湖文化館主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-522-8179/(FAX)077-522-9634

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
10/27(木)	13:30~15:00	講座	滋賀の文化財講座「打出のコツチ」第6回 「秘仏開帳—長浜市千手院 千手観音立像(御代仏)をめぐって」	40	要	無料	コラボしが21 3階 中会議室 1
11/24(木)	13:30~15:00	講座	滋賀の文化財講座「打出のコツチ」第7回 「文化財を動かす—学芸員の仕事—」	40	要	無料	コラボしが21 3階 中会議室 1
12/22(木)	13:30~15:00	講座	滋賀の文化財講座「打出のコツチ」第8回 「木簡が語る近江の歴史—西河原木簡から こけら経、巡礼札まで」	200	要	無料	コラボしが21 3階 大会議室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www2.ocn.ne.jp/~biwa-bun/>

■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問合せ先：(TEL)077-548-9780

*「文化ゾーン体験隊」以外は10/3~受付開始。

日程	時間	イベント名		定員	予約	参加費	会場 (集合場所)
11/3(木・祝)	9:00~16:30	体験	文化ゾーン探検隊 (スタンプラリー)	40	不要	無料	滋賀県埋蔵文化財センター
11/5(土)	10:00~12:00 14:00~16:00	体験	「古代のファッションデザイナーに学ぼう」~草木染めに挑戦~	15	要	500	滋賀県埋蔵文化財センター
11/12(土)	14:00~16:00	体験	「古代の料理人に学ぼう」~土器でごはんを炊こう~	10	要	500	滋賀県埋蔵文化財センター
11/19(土)	10:00~12:00 14:00~16:00	体験	「古代の鍛冶職人に学ぼう」~ナイフ作りに挑戦~	10	要	500	滋賀県埋蔵文化財センター

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc>

~滋賀県立安土城考古博物館~ 東日本大震災復興祈念

秋季特別展「^{すが}武将が継った神仏たち」

木造妙見菩薩倚像 (鎌倉時代、妙光寺 / 千葉県指定文化財)

武将から絶大な信仰を集めた神仏たち。戦勝祈願に特化した軍神にスポットを当てた全国初の特別展です。信長・秀吉・家康・光秀など、関連する武将の肖像をまじえて紹介します。重要文化財 9件、府県文化財 8件、初公開資料多数を含む約 60 件の資料を展示。

■記念講演会

◇11月6日(日)13:30~

「戦国武将が継った軍神たち」/ 小和田哲男氏 (静岡大学名誉教授)

■博物館講座

◇10月16日(日)13:30~

「飯縄権現とは何か?」/ 高橋平明氏 (元興寺文化財研究所)

◇10月30日(日)13:30~

「妙見菩薩の信仰と造形」/ 山下立 (滋賀県立安土城考古博物館)

◇11月20日(日)13:30~

「聖地と城郭—武将の統治戦略—」/ 大沼芳幸 (滋賀県立安土城考古博物館)

* 問合せ先：(TEL)0748-46-2424/(FAX)0748-46-6140

▲滋賀県立安土城考古博物館では、ほかにもいろいろなイベントを開催中。情報はホームページにも随時掲載しています。☛ <http://www.azuchi-museum.or.jp>